

ホームページへの掲載		
済	7月10日	掲載予定

## 岐 阜 県 立 可 児 工 業 高 等 学 校

学 校 長 山 田 豊 和

学 校 住 所 可 児 市 中 恵 土 2358 の 1 電 話 0574-62-1185

1 会議の名称 可児工業高等学校学校評議員会 (第1回)

2 会議の構成

委 員	一枚田キヨ江	会社役員
	千賀 昂	可児市中恵土自治会連合会
	藤田 幸夫	(株)甲山製作所社長
	水野 正司	可児市下恵土自治会連合会長
	山口 清江	可児市青少年育成アドバイザー
		(委員名五十音順)
学 校 側	山田 豊和	校長
	高木 良昭	教頭
	藤井 健二	事務長
	兼松 竹司	教諭 (生徒指導部長)
	川合 正郎	教諭 (進路指導部)
	河合 英光	教諭 (教務部)
	伏見 圭太	教諭 (機械科長)

3 会議の目的 学校が保護者や地域住民の信頼と期待に応えるためには、地域に開かれた学校づくりの推進が重要である。学校は家庭や地域にその運営方針を明らかにし、その理解と協力を得るとともに、学校外の有識者等の参加を得て、学校運営に対する幅広い意見を集約し、本校教育の一層の改善・充実を目指す。

4 会議の開催 平成23年6月24日(金) 13:10~15:10 可児工業高等学校校長室  
委員5人と学校側7人が出席  
会の内容

- ・委嘱書交付
- ・授業参観と施設見学
- ・出席者自己紹介
- ・県立学校の学校評議員について
- ・学校の現況と課題
- ・授業参観の感想と本校への意見や提言
- ・その他

### 5 会議の概要

#### (1) 本校の現況と課題

学校より以下のように説明を行った。

- ①平成23年度の可児工業高等学校の学校運営について (学校長)  
マニフェストの説明
- ②教務部の方針と重点

- ③生徒指導部の方針と重点
- ④進路指導部の方針と重点及び平成22年度の進路概要
- ⑤工業部の方針と重点

## (2) 授業参観及び校内見学の感想や意見

- 意見 1 初めて工業高校の授業は参観した。私は子どもが3人いるが、全員普通高校で、今まで、工業高校に関心はなかった。今回、評議員に推薦されたことをきっかけにして、工業高校のことを勉強して、その良さを広めたい。
- 意見 2 教室での授業と比べて、実習の授業の時の生徒の眼は輝いていた。すれちがう生徒が全員大きな声で挨拶してくれて驚いたし、感心した。
- 意見 3 英語の授業は少人数ということもあり、みんな授業に積極的に参加していた。昼休み後でしかも今日のような暑い日にもかかわらず、ざわつくこともなく、おとなしく授業を受けていたのが印象的だった。
- 回答 今日、ご覧いただいた英語などは少人数の効果があると思われる。生徒がより興味を持って授業が受けられるように教科の選択を取り入れているので、少人数での授業も多い。また、実習では安全のためもあり、おおむね生徒10人に教員1人の体制をとっている。今後は能力別でクラス分けすることも検討している。
- 意見 3 3年生の課題研究では生徒達が真剣に、楽しそうに取り組んでいた。生徒も先生方も相互に真剣さを感じた。こういうところで3年間学べば、かなり実力がつくように思う。
- 回答 本校は昨年度の場合65%が就職した。そのため、3年間で社会人としての常識を身につけさせなければいけないと考えている。実習前の集会などで指導をしたり、職員室への入室マナーなど日頃から指導に心がけている。しかし、まだ十分でないので、これからも指導を強めていきたい。

## (3) 本校への意見や提言

- 意見 4 10年ぐらい前はけっこう横着な生徒が見られて心配したが、最近はあまり見かけなくなった。
- 回答 最近は大きな問題行動は少ない、今年度についても現在のところ軽微な問題行動があるだけで、学校全体としては落ち着いていると言える。昨年度の卒業生のうち40%が3年間皆勤であった。また遅刻の数も県内ではトップクラスの少なさである。  
特定の生徒の遅刻数が多いので、本人の指導はもちろん、家庭にも連絡し、両面から指導をしている。
- 意見 5 可児工業生はよく挨拶してくれて気持ちがいい。学校近辺ではよくするが、学校から離れるほど挨拶をする生徒が少ないような気がする。
- 意見 6 毎朝、先生が校門で登校してくる生徒を指導している姿を見かける。私の地域ではそれほど交通マナーで気になることは少ない。学校に近く、先生方の目があるのかもしれない。

回 答 本校の周りは通行量が多い道路が多く、交通事故については心配している。  
事故に結びつきやすい傘差しや携帯電話を見ながらの自転車運転については、日頃から注意を促して、雨天時のかっぱ着用は低学年ではかなり習慣化されてきている。しかし、3年生には十分に徹底しているとは言えないので、今後も粘り強く指導をしていきたい。

意 見 7 この地域では各自治会が主催する自主的な催しが盛んであり、そんなイベントに高校生が参加してくれるとありがたい。

意 見 8 今年度の可児市産業祭の実行委員長をおおせつかっている。催しを盛り上げるためだけでなく、可児工業高校を広く市民に知ってもらうためにも、今年も参加をお願いしたい。地域に支えられ、地域から頼られる学校をめざしていただきたい。

回 答 外部の催しに参加することは、学校のピーアールにもなる。さらに参加する生徒にとっては、多くの人と接することで、課題であるコミュニケーション能力の育成にも力になると考えている。以前から産業フェア、環境フェスタあるいは公民館祭りにはできる限り参加するようにしている。先日御嵩の「ささゆりまつり」にミニSLが参加し、好評であった。全ての要望にお応えできないかも知れないが、地域の催しには積極的に参加したい。

#### (4) その他

意 見 9 マイコンカーラリーの2年連続優勝など、可児工業の活躍を注目している。がんばってもらいたい。このことで、生徒が学校に対して誇りを持てるようになる。

意 見 10 可児工業生は生徒の多くが元気で明るい挨拶をしてくれる。このことは大事なことなので続けていってほしい。

意 見 11 真面目でおとなしいという評価がある一方で、競争心や向上心に弱いところがあるような気がする。常に人より一歩先に出る気概と、高い志をもつ人間を育成していただきたい。

## 6 会議のまとめ

① 今年度の評議員の中には工業高校を見るのは初めての方もいた。今回の校内見学で施設が充実し、生徒が生き生きと学習していたことに感心されていた。このことからもっと市民に「可児工業高校」を知ってもらう必要があると感じた。中学生だけでなく、広く市民の皆さんに知ってもらうことが、結果として志願者を増やすことにつながるようにしたい。

② 新規の評議員のお話を聞くと、本校は町の中心部にあり、地域の行事にはできるだけ参加しているのに、まだ十分に知られていないことがわかった。それだけに施設見学と授業参観では、本校の機械設備や授業内容に興味を示され、又、生徒の実習態度に感動された様子が見えた。工業高校の良さをわかってもらえたと思う。

③ 本校は幸いなことに、地域から期待されていて、温かい目で見られていると感じた。地域に支えられる学校として、できるかぎり多くの催しに参加して本校や本校の生徒の「良さ」をアピールして、より良い学校づくりにつなげたい。